IC メルマガ　（国際委員会メールマガジン）

ICOT2025 年次大会
Regenerative Travel: Balancing Technology and Sustainability

琉球大学　国際地域創造学部　宮國　薫子

6 月 24 日から 28 日に、International Conference on Tourism （ICOT）14 回目の国際会議、Regenerative Travel: Balancing Technology and Sustainability が「アドリア海の真珠」と称されるドブロブニク　（クロアチア共和国）で行われました。毎年行われる ICOT の主催者は、英国 Middlesex 大学の Dr. Konstantinos Andriotis で観光と島嶼や、観光の質的研究で多くの業績があります。筆者は、2017 年のナポリで行われた学会に参加し、コロナ禍の 2020 年にギリシャで行われオンラインで参加しました。今回、ドブロブニク大学で行われたこの学会の参加人数は 170 人、ヨーロッパは、ギリシャやイタリア、スペイン、ポーランドやデンマーク、ルーマニアやマケドニア、アジアは韓国や台湾、また南アフリカ共和国から参加していました。

基調講演では AI を利用した観光研究や、平和と観光に関する斬新な研究、ジャーナル編集長らによる論文投稿への誘いについてのパネルディスカッションがありました。4 日間を通して大変充実した日程で、1 日目は午後 5 時からドブロブニク大学の教授による開会挨拶、6 時からドブロブニク市内のまち歩き、夜 8 時から湖畔でクロアチアの民族舞踊を囲んでの夕食会があり、世界中から、ここぞと集った観光研究者が盛大に歓迎されました。2 日目の朝にも、主催者の基調講演が朝 9 時からあり、10 時から 2 時まで研究者の発表が 1 セッション（4 人の研究者：質疑応答含めて 20 分）、昼には、ギリシャのワインや地中海風のオードブル、サンドイッチなどの昼食が立食形式でふるまわれ、3 つのセッションが夕方まで続き、数々の賞（Best Paper Awards, New scholar Awards, Best Tourism Marketing Papers）も授与されました。3 日目も同様に基調講演や発表会、閉会挨拶、打ち上げの夕食会が行われました。最終日は、ドブロブニクからフェリーで 30 分の島でフィールドトリップがありました。２０２６年の６月の年次大会は、南アフリカで行われるそうです。 ICOT2025 URL: https://iatour.org/icot2025

発表抄録：https://iatour.org/icot2025/wp-content/uploads/2025/06/Book-of-Abstracts-ICOT2025-v4-1.pdf

ドブロブニク旧市街

論文編集者によるパネルディスカッション

夕食会でのクロアチア民族舞踊

ドブロブニク大学での休憩時間